



JAPANESE SOCIETY FOR BIOINFORMATICS

特定非営利活動法人

日本バイオインフォマティクス学会ニュースレター 第26号

学会ホームページ <http://www.jsbi.org/> Tel:03-3599-8660 Fax:03-3599-8081 E-mail:jimu@jsbi.org

◆ CONTENTS ◆

[巻頭言].....1	[リレー紹介:日本のバイオインフォマティクス研究室].....16
[特集:バイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)が推進するライフサイエンスデータベース統合の取り組み].....2	[学会からのお知らせ].....17
[研究会・地域部会の活動報告].....8	[学会議事録等].....18
[年会開催報告].....12	[学会の現況].....23
[国際会議レポート].....13	[編集後記].....24

◆ 巻 頭 言 ◆

会長の任期を終えるにあたって

平成22年度から3年間の間、会長を務めさせていただきましたが、今年3月で任期満了となりました。これまでの慣例では、会長は2期(2年)で交代することになっておりましたが、平成23年12月の特定非営利活動法人(以下、NPO法人)への移行に伴い、会長の再任制限がリセットされてしまったことと、法人としての立ち上げ処理がまだ若干残っていたため、はからずさらに1年間の延長をすることになりました。ここまで何とか会長職を続けてこれたのは、副会長の浅井先生、評議員(法人化後は理事)の皆様、そして何よりも学会事務局として活動を支えて頂いた鈴木さん、坂井さんのご尽力によるものです。この紙面を借りて厚く御礼いたします。

会長の期間中に、特に印象に残ったことをいくつか述べてみたいと思います。何よりも、平成23年3月の東日本大震災のことが一番記憶に残っております。JSBiにとって3月は役員交代の時期で、このときも3月29日に東京で会長選挙と、評議員会、NPO法人の設立総会を開催する予定でした。しかし、3月11日に地震が起これ、その後から、福島原発事故に伴う輪番停電や、物資の欠乏、交通手段の制約など刻一刻と情勢が厳しくなるなかで、とても東京で会議はできそうにないと判断されたため、いったんは会議開催の中止とメール投票による暫定的な会長選挙を提案させて頂き、メールでの審議となりました。しかし、会長の選出という重要なことを、

輪番停電でメールで決めることの技術的・手続的な問題や、地震で被災された会員に対する支援を緊急に議論する必要があるというご意見が寄せられ、暫定的な対応ではなく、とにかく集まれる評議員が集まって会長選挙と評議員会を開催するべきではないかということになりました。結局は、18名の評議員(次期評議員を含む)の方々にご出席頂き、会長選挙と評議員会を当初予定通りの3月29日に東大医科研にて開催することができました。会長選挙では私が会長として選任(再任)され、評議員会では地震被害への対応として、(1)東北地域部会の活動に対し活動費として75万円の支援を行う、(2)学会のホームページで震災の被害状況や可能な支援等の情報を掲示する、(3)学会員に対して東北地域部会への寄付を募る、(4)被災された会員の会費等を免除する(免除措置に必要な細則の改定も併せて決議)ことが決まりました。活動費や寄付金の使用方法としては、東北地域部会から、今回の震災で実験系の再立ち上げに時間がかかる研究室の方々にバイオインフォマティクスのスキルを身につけてもらう機会をサポートするための国内研修を実施したいという大変前向きなご提案を頂き、受け入れ候補先として数多くの研

